

PATENT Attorney

パテント・アトニー

秋

VOL. 51

日本弁理士会広報誌

2008

●「PATENT ATTORNEY」は「弁理士」のことです。

Q

弊社はカー用品を製造販売する中小企業であり、カー用品の製品開発を行っています。以前、特許出願に先立ち先行技術の調査をしたほうがよいとの話を伺ったのですが、具体的にはどのようにして調査をすればよいか教えてください。

●東京都／会社経営者（52歳）

A

先行技術の調査方法としては様々な方法がありますが、まず簡易的な方法として、特許庁のホームページからリンクされている「特許電子図書館（IPDL）」を利用する方法をお勧めします。IPDLにおいては、過去の特許出願等に関

知的財産権なんでもQ&A



する文献、例えば、出願日から1年6ヶ月経過後に発行される公開特許公報を、誰でも無料で閲覧することができます。そして、IPDLには、キーワード検索機能が付いているため、開発製品の名称、用途などのキーワードによって開発製品と関連のある文献を見つけることができ、ご自分でも簡単に先行技術を調査することができます。なお、より精度の高い調査を望まれる場合には、お近くの弁理士にご相談ください。

◎このコーナーでは知的財産権に関する皆さまの質問にお答えします。質問事項を記載して、下記の住所にハガキまたはFAX.03-3519-2706で日本弁理士会 広報・支援・評価室「Q&A係」までお送りください。

なすびくんの仕事

阪間和之（作）飯岡菜子（画）



★詳細・お申し込みは、ホームページ www.jpaa.or.jp をご覧ください。

JPAA Information

知財セミナー「中小企業の知的財産経営」

一研究開発から事業に至る知財の果たす役割一

日本弁理士会は日本弁護士連合会と共同で、中小企業向けに知的財産経営をわかりやすく解説するセミナーを開催します。是非ご参加ください。

東京会場 日時 平成20年10月4日（土）午後1時～午後5時
場所 弁護士会館 2階講堂クレオ（東京都千代田区霞が関1-1-3）
定員 296名（要事前申し込み）

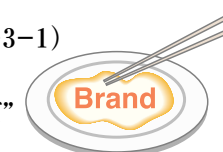
知財支援フォーラム「やらまいか浜松」

知的財産権制度の高揚・普及の一環として、日本弁理士会および日本弁理士会東海支部が、静岡県内ではじめて、知的財産フォーラムを開催します。是非ご参加ください。

日時 平成20年10月28日（火）12:30～17:00
場所 グランドホテル浜松 鳳の間（浜松市中区東伊場1-3-1）
定員 300名（10月21日（火）まで要事前申し込み）
内容 1部 地域ブランドの成功事例 “富士宮やきそば” 富士宮やきそば学会会長 渡辺英彦氏

2部 日本弁理士会、発明協会静岡県支部の取組みについて

3部 浜松市、浜松商工会議所の地域ブランドに対する取組みについて紹介および浜松で実際に取り組んでいる事例の紹介。また、地域ブランドを含む知的財産権の法制度、活用について、専門家としての立場から弁理士が分かり易く解説。



JPAA 日本弁理士会
<http://www.jpaa.or.jp>

PATENT ATTORNEY [パテント・アトニー]

●平成20年9月19日発行 第51号 ●無断転載禁止 ●編集／日本弁理士会広報センター ●発行／日本弁理士会
●〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-4-2 ●電話 03-3581-1211（代） ●FAX 03-3581-9188

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK™

Printing Naturally

◎ヒット商品はこうして生まれた
ヒット商品を支えた知的財産権
半導体の高生産性を実現する
「CLEAN TRACK® LITHIUS Pro-i」
■特許調査よもやま話 ■ジャーナリストごぼれ話
●弁理士風土記（鳥取） ●シリーズ特産品（沼津ひもの）
●知的財産権なんでもQ&A ●漫画「なすびくんの仕事」
●特許庁からのお知らせ ●JPAA Information

シリーズ JAPAN **特産品**「沼津ひもの」
商標登録 第5077768号

干物の歴史は古く、縄文時代の貝塚にもその痕跡が確認されていますが、現在のよう干物が完成したのは、江戸時代の頃といわれています。

『干物といえば沼津』といわれますが、沼津地域は、湿度が低く、適度な風が吹き、南に日本一の水深をもつ駿河湾、北に霊峰富士とその伏流水である柿田川の湧水というように、干物の生産にはまさに最適な環境にあります。沼津における干物の生産量は、交通や保冷技術の発展により大消費地との時間的距離が縮まることで飛躍的に増加し、全国一を数十年来維持しています。

「沼津ひもの」は、加工技術の機械化される現代においても、より良い原料魚の確保と製造技術の研磨により、一枚一枚手作りと独自の味付けを守って生産されています。沼津魚仲買商協同組合及び静岡ひもの協同組合は、2007年に地域団体商標として「沼津ひもの」の登録を受け、更なる製法の研鑽と消費者に顔の見える干物作りに邁進しています。



このコーナーに掲載御希望の方は、「特産品」のプロフィール・連絡先をFAX:03-3519-2706までお送りください。

鳥取砂丘 ▶

7年前に、財団法人鳥取県産業振興機構の特許マネージャーとして兵庫県から鳥取県に移り住み、その後、米子市で開業されていた大塚特許事務所を引き継いで現在に至っております。

鳥取県は、47都道府県中、総面積が41位、人口が47位ですが、地域資源には恵まれ、鳥取砂丘、白壁土蔵群、大山などがあります。また、鳥取県は、食の都とも言われ、例えば、砂丘らっきょう、モサエビ、岩ガキ、白いか、大栄西瓜、あご（飛魚）、二十世紀梨、紅ずわいがに、砂丘ながいも、松葉がに、カレイ、ばばちゃん、どぎ、花御所柿、鳥取白ネギ、東伯和牛・東伯牛などが有名です。伝統的工芸品産業としては、因州和紙が有名です。また、鳥取城その他の名所旧跡や、皆生温泉・三朝温泉などの特色のある温泉、境港市の水木しげるロードなどがあり、観光客で賑わっております。鳥取県は、2006年5月11日に、日本弁理士会と知財支援協定を締結し、地域の自立と再生に向けた県政の主要施策として、鳥取発の技術を活かした産業集積を図るために産学官連携の強化を行うなど、「知」を大切にしたい地域づくりを積極的に進めています。鳥取県には、観光地や旨いものが沢山ありますので、是非お立ち寄りください。



鳥取砂丘／砂で作った万里の長城

シリーズ 25 弁理士 国土記 (鳥取)

森山国際特許事務所
弁理士 森山 陽

半導体は、コンピュータや携帯電話といった情報通信機器をはじめ、家電など身近な製品の多くに使用されています。現代社会は、半導体およびその製造技術におけるためまざる研究開発の恩恵を受けているのです。

半導体製造は、直径200mmのシリコンウェーハに対して生産コストを約30%削減できる300mmウェーハへの移行が進んでいます。高性能化を図る構成回路の微細化も加速しており、2006年に65nmプロセスの量産が本格化し、07年には45nmプロセスに移行しました。このため、写真と同様の技術でウェーハに回路を投影して焼きつけ、IC回路を形成する光学リソグラフィ技術も、従来の主流技術から液浸リソグラフィに向っています。

2007年に市場に投入された東京エレクトロン株式会社のCLEAN TRACK® LITHIUS Pro® およびCLEAN TRACK® LITHIUS Pro®-i

は、フォトリソグラフィプロセスにおいて感光剤の塗布と現像を行う装置で、32nmノード以細までターゲットとした次世代300mmウェーハプロセスに対応する機能を備えています。また、この装置は、斬新なプロセスとモジュールを適用することで、最先端の液浸リソグラフィプロセスにも対応可能です。

開発に当たっては、同社のレジスト塗布現像装置で培った高い技術力をもとに、飛躍的な高生産性と高信頼性の実現を目指しました。装置面積の縮小化を図りつつ、処理能力を高めるという矛盾した課題を克服するのが困難でしたが、まず設置面積を従来比25%削減することに成功し、次いで、ウェーハを搬送するシステム開発によってスループットを30%高め、180枚/時間の高い生産性を実現しました。露光機を含めた装置性能の向上に加え、薬液コストの大幅削減などによって運用コストを低減した点でも革新的で

あるといえます。

技術専門商社として1963年に創業した同社は、その後、半導体製造装置の開発・製造に軸足を移しました。その当初、競合会社の多くは米国企業でした。競合企業が保有する米国特許を徹底的に分析し、開発・設計部門にフィードバックしてきた結果、半導体製造装置およびフラットパネルディスプレイ製造装置のトップメーカーに成長し、2007年の半導体製造装置メーカーの売上高ランキングでは、日本1位、世界2位の実績を誇っています。

日本および米国で積極的に特許出願してきたほか、近年では韓国、中国などで競合会社が急増しており、米国以外での知的財産権の取得も進めています。海外での知財権取得に注力し、知財戦略、技術戦略、製品戦略の三位一体の経営を実践する同社は、2008年度の特許戦略優良企業として経済産業大臣より表彰されました。

ヒット商品は、こうして生まれた!

ヒット商品を
支えた
知的財産権 VOL. 51

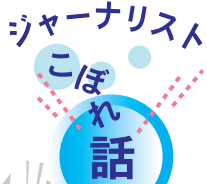
半導体の高生産性を実現する

「CLEAN TRACK® LITHIUS Pro®-i」

商標登録 CLEAN TRACK: 第2718814号
LITHIUS Pro: 第5143203号



実りの季節



暑さの和らぐ過ごしやすしい秋は、実りの季節でもある。冬眠を控えたクマの食欲が旺盛になったり、リスが木の実を蓄えたりすることはよく知られている。しかし、現代の日本人にとっては、食べ過ぎに注意すべき季節かもしれない。

厚生労働省は平成20年度から、医療保険者（勤務先）に対し、40歳以上の被保険者・被扶養者のメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診・保健指導である「メタボ検診」の実施を義務化した。メタボリックシンドロームは、内臓脂肪型肥満に加え、高血圧、高血糖、脂質異常のいずれか2つ以上を併せ持った状態を診断基準とし、日本人の死因の上位を占める生活習慣病の発症リスクを高めると考えられている。

先日訪ねた高血圧症を専門に研究している医師は、なんらかのストレス状況下で急に血圧が上がる仮面高血圧に注目。高血圧の治療と追跡調査、また就寝中でも血圧を測定できる血圧計の開発も行っていた。

美味しいものを沢山食べたいのは山々だが、腹八分目で自分自身に優しい選択を。何事も程々に。

（鈴木）

特許調査
よもやま話

「サッカー」と「野球」では野球の勝ち、「幸福」と「不幸」では不幸の勝ち、「火星」と「金星」では火星の勝ち。これは、何のことでしょうか。正解は、特許出願の明細書中に出てくる頻度（出願件数）の多い方です。平成20年3月からは、特許電子図書館の「特許・実用新案検索」の中の「公報テキスト」というサービスを使うと、特許出願の明細書の「全文」中の文章を検索できるようになりました。公開特許公報（平成5

年以降が検索対象です）を明細書の全文で検索してみますと、サッカー…9495件、野球…11433件、幸福…816件、不幸…5733件、火星…307件、金星…220件となります（平成20年7月31日現在）。それでは、「プリン」と「ヨーグルト」ではどうでしょうか。プリン…1355929件、ヨーグルト…7983件と、プリンが圧勝です。プリンがなぜこんなに多いのでしょうか。その理由は、「プリンタ」「スプリング」「カップリング」などが大量にヒットしているからです。文字の並びを検索しているだけなので、このようなことが起こります。（弁理士 鈴木利之）